

一 般 質 問

発言者 中 西 俊 介

発 言 の 要 旨 (その1)
1 市立幼稚園の今後の在り方について
(1) 市立幼稚園の園児数減少と小規模化の現状、また、今後の見通しをどのように受け止めているのか。
(2) 一定規模の集団生活を保障する観点から、個別園ごとの再編判断にとどまらず、市立施設全体の中・長期的な将来像を示す考え
2 産前産後休業・育児休業中における放課後児童クラブの継続利用について
(1) 産休中については、出産前後の家庭の負担や子供の居場所の継続性を踏まえ、放課後児童クラブの継続利用を認める考え
(2) 育休中についても、家庭での保育が難しい事情をより丁寧に把握し、柔軟に継続利用を認める運用に見直す考え
3 リフィル処方箋の適切な活用について
(1) 適切な活用についての受け止め
(2) 国保財政や子ども医療費助成制度の持続可能性の観点から、リフィル処方箋の利用状況や課題を把握する考え
(3) 市民の通院負担の軽減、医療資源の有効活用、医療費の適正化を図るため、リフィル処方箋の制度内容や利用に当たっての注意点について、市民への正確な周知啓発に取り組む考え
4 マンション管理の適正化について
(1) マンション管理実態調査において、管理組合の担い手不足や外部管理者方式の導入状況、また、その検討に当たっての課題を把握する考え
(2) 国のガイドライン改訂を踏まえ、管理組合や区分所有者に対し、外部管理者方式の利点とリスク、利益相反への対応、監査体制の重要性など、情報提供を行う考え
(3) マンション管理士派遣事業や相談支援体制の中で、外部管理者方式を検討する管理組合が専門的な助言を受けられるよう、支援内容を充実させる考え

発言の要旨(その2)

5 デジタル技術を活用した市民サービスの利便性向上について

- (1) 図書館などの公共施設の利用や防災分野などを対象に、既存の利用者証や登録情報、紙の手続を棚卸しし、デジタル技術を活用して利便性を高められるサービスを整理する考え
- (2) 導入効果が見込まれる分野については、優先分野をどのように選定し、導入を進めていくのか。

6 職員発の業務改善DXについて

- (1) 書かない窓口や基幹業務システムの標準化を、職員発の業務改善につなげていくことについての認識
- (2) 現場職員の気づきや課題意識を起点として、デジタル部門が伴走しながら具体化し、他部署への横展開も含め、業務改革につなげていく考え
- (3) 生成AIに関する庁内ルールを、職員が安心して活用できるものとなるよう見直し、生成AIのさらなる活用促進に取り組む考え

7 検索・AI時代における公式ホームページの在り方について

- (1) ホームページを単なる閲覧媒体としてではなく、検索やAIを通じて行政情報を届けるための公式情報基盤として、どのように位置づけていくのか。
- (2) ホームページに掲載する手続情報などについて、市民にとって分かりやすく、検索やAIにも正確に理解されやすい形で整理できるよう、全庁共通の作成・更新ルールやテンプレートを整備する考え
- (3) 市民の問合せ内容、ホームページ内の検索状況、AIオペレーターの対応記録などを分析し、掲載内容やページ構成の改善に継続的に反映するとともに、自己解決率を成果指標の一つとして位置づける考え